

2013年12月15日 9-16時

第59回 DAM 実践セミナー

(北大阪シミュレーションセミナー2日目)

@大阪医科大学 MSSC 報告書

①開催形態

開催施設責任者：林 道廣（大阪医科大学附属病院医療技能シミュレーション室）

開催協力部門：医療安全管理室、医療プロフェッショナル支援室

開催講座責任者：南敏明（大阪医科大学麻酔科学教室）

②インストラクター

コースコーディネーター

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

インストラクター

羽場政法 日赤和歌山医療センター麻酔科

駒澤伸泰 大阪医科大学麻酔科学教室 MSSC

アシスタント

藤原俊介 大阪医科大学麻酔科学教室 医療プロフェッショナル支援室

③参加者 23名

学内 7名 初期臨床研修医 2名、麻酔科医師 3名、医学生 2名（メディカルトレーニングクラブ）

学外 16名 麻酔科 4名、救急・ICU科 4名、内科 3名、外科 1名

耳原総合病院 内科

名古屋大学医学部附属病院 救急・集中治療医学分野

市立福知山市民病院研修医 麻酔科志望

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座

静岡県立こども病院 小児集中治療科

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 集中治療科

新潟大学大学院医歯学総合研究科 歯科麻酔学分野

独立行政法人 国立病院機構 山口宇部医療センター 麻酔科

緑水会 緑水会病院 内科

若草第一病院呼吸器内科

隠岐広域連合立隠岐病院 麻酔科

九州厚生年金病院 脳神経外科

関西労災病院麻酔科 4名

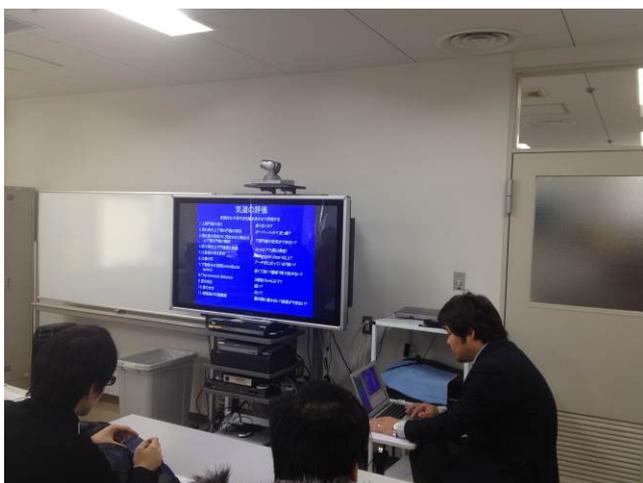
④コース内容と学習目標

ハンズオンのところを2チームに分けて開催した

小児科や救急医の受講も多いため、緊急状況や小児の気道管理を学べるように工夫も行った。

⑤開催風景

講義 ASA-DAM と JSA-AMA の概説



気道管理ハンズオン

① 様々な声門上器具の訓練



② 声門上器具の訓練



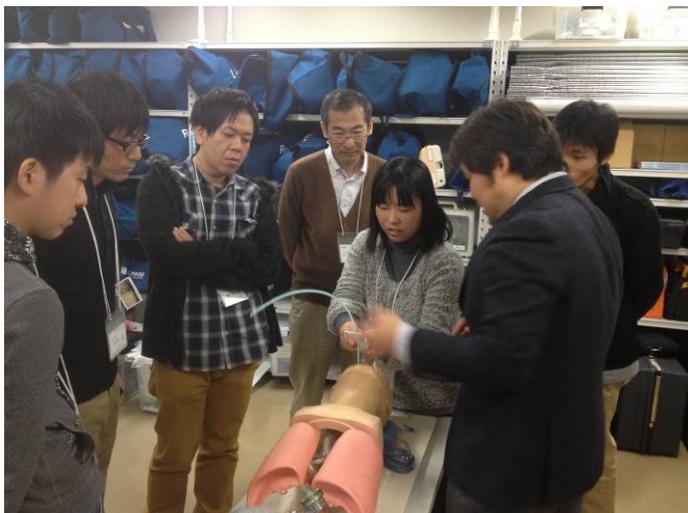
③ メディカルトレーニングクラブも参加



④ 間接声門視認型喉頭鏡の訓練



⑤ 喉頭展開困難への対応

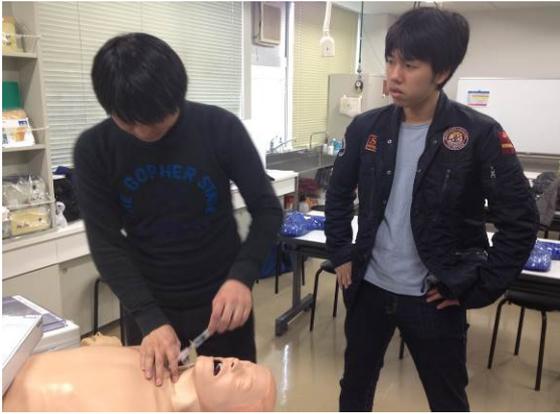


⑥ 気管支ファイバースコープ



⑦ 侵襲的気道確保訓練





⑧ シナリオトレーニング



⑨ 全体集合写真



⑩ 今後の取り組み

今回も全国各地より多診療科の参加を得た。

DAM 実践セミナーは麻酔科・救急だけでなく小児科、内科等の診療科からも非常に評価されており来年度も継続開催をしていく予定である。